

〈第147回〉銀行業務検定試験成績発表

外国為替3級、年金アドバイザー3級が好成績

去る2020年10月25日(日)に実施した第147回銀行業務検定試験の成績結果がまとまりましたので、以下のとおり報告します。

■法務2級

「法務2級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数3,693名中受験者は3,100名で、合格者は1,093名でした。合格率は35.26%、平均点は43.25点と、ともに前回は上回りました。

最高点は92点で、細井朝子さん(長浜信用金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点をみていくと、〈預金〉の分野では〔問題-1〕誤振込の問題が6.95点となっています。本問は択一の正解率も高く、また記述も多くの答案が高得点でした。〔問題-2〕預金の相続の問題は5.79点となりました。〔問題-3〕預金の差押えの問題は4.32点となりました。民事執行法の関連条文を正確に理解して記述することが要求される問題でしたが、法律名を誤記する答案も散見されました。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題-4〕手形の記載事項の問題は4.81点となりました。〔問題-5〕不渡異議申立ての問題は3.92点となりました。異議申立提供金の返還時期について理解している受験者が多く、択一式の正解率は高い結果

となりました。〔問題-6〕電子記録債権の問題は4.10点となりました。電子記録債権については、手形との異同で特徴を押さえておくことが重要です。

〈融資〉の分野では、〔問題-7〕債務の相続の問題は4.35点となりました。民法や銀行取引約定書の規定や基本的な裁判例を問う問題であり、比較的良い結果でした。〔問題-8〕根抵当権の物上代位にもとづく賃料債権の差押えの問題は3.15点となりました。〔問題-9〕集合動産譲渡担保の問題は3.14点となりました。〔問題-10〕破産の問題は2.71点となりました。〔問題-10〕は難易度の高さや時間との関係からか、点数が低い結果となっています。

すべての問題に共通することですが、①条文や判例等の根拠の提示→②事例・選択肢との比較・あてはめ→③結論(各選択肢の正誤判断)という基本的な論述形式を心がけてください。

■法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

(合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	108	1,223	70	188	1,352	123	147	34	3	0	3	442	3,693
応募比率	2.92	33.12	1.90	5.09	36.61	3.33	3.98	0.92	0.08	0.00	0.08	11.97	100.00
受験者数	95	1,031	51	148	1,202	107	135	30	2	0	3	296	3,100
受験率	87.96	84.30	72.86	78.72	88.91	86.99	91.84	88.24	66.67	0.00	100.00	66.97	83.94
合格者数	64	379	25	44	353	16	64	7	0	0	1	140	1,093
合格率	67.37	36.76	49.02	29.73	29.37	14.95	47.41	23.33	0.00	0.00	33.33	47.30	35.26
平均点	53.33	43.86	48.10	42.80	41.10	35.58	46.33	36.57	28.50	0.00	44.00	48.15	43.25
年齢	27.1	32.2	33	40.3	38.1	40.5	37.3	37.1	30.5	0	44	34.5	35.5
勤続年数	3.7	9.1	9.9	17.4	15.2	16.8	15.0	10.5	7.5	0.0	24.3	10.5	12.4

応募者数 17,500 名中受験者は 15,958 名で、合格者は 5,874 名でした。合格率は 36.81%、平均点は 52.76 点と、ともに前回は上回りました。

最高点は 98 点で、熊澤陸さん(三井住友銀行)、菊地まゆみさん(個人申込)の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30%以下となった問題は、〈融資〉の分野では〔問－15〕個人根保証契約・個人貸金等根保証契約、〔問－24〕民事再生手続の 2 問、〈決済〉の分野では〔問－30〕手形・小切手の有価証券としての性質、〔問－37〕不渡事由の重複の 2 問、〈銀行取引関連法〉の分野では〔問－46〕相続、〔問－50〕貸金業法の 2 問で、計 6 問でした。

このうち〔問－46〕は、民法上の相続に関する知識を問うものでした。遺言書の保管者が相続の開始を知ったときや、遺言書の保管者がいない場合に相続人が遺言書を発見したときは、遅滞なく遺言書を家庭裁判所に提出して、その検認を受

けなければなりません。一方で、公正証書遺言の場合および法務局における遺言書保管制度利用の場合は除かれています。いわゆる相続法の改正もありましたので、これを機に正確に理解されると本種目のみならず実務に活かせることと思います。

他方、〈預金〉分野では、今回、正解率が 30%以下となった問題はなく、好成績の結果となりました。

法務 4 級

「法務 4 級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数 2,256 名中受験者は 2,131 名で、合格者は 1,352 名でした。合格率は 63.44%、平均点は 64.77 点と、ともに前回は上回りました。

最高点は 100 点で、藤ノ井峻介さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 40%以下となった問題は、次のとお

〔表－2〕法務 3 級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	1,157	4,989	306	1,299	4,629	822	1,777	866	7	4	62	1,582	17,500
応募比率	6.61	28.51	1.75	7.42	26.45	4.70	10.15	4.95	0.04	0.02	0.35	9.04	100.00
受験者数	1,075	4,617	241	1,165	4,300	750	1,668	800	3	4	58	1,277	15,958
受 験 率	92.91	92.54	78.76	89.68	92.89	91.24	93.87	92.38	42.86	100.00	93.55	80.72	91.19
合格者数	695	1,683	132	384	1,465	181	468	273	3	2	14	574	5,874
合 格 率	64.65	36.45	54.77	32.96	34.07	24.13	28.06	34.13	100.00	50.00	24.14	44.95	36.81
平均点	63.59	52.46	57.61	51.99	51.99	48.12	48.49	51.86	68.67	52.00	48.10	56.16	52.76
年 齢	23.7	26.2	28.0	27.8	28.2	30.1	34.2	30.3	33.7	34.0	37.8	29.5	28.3
勤続年数	0.7	3.1	4.7	4.7	5.6	7.6	10.7	4.7	14.0	0.0	12.6	5.7	5.0

〔表－3〕法務 4 級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	1	62	0	361	827	337	416	110	0	0	0	142	2,256
応募比率	0.04	2.75	0.00	16.00	36.66	14.94	18.44	4.88	0.00	0.00	0.00	6.29	100.00
受験者数	1	56	0	344	793	323	384	104	0	0	0	126	2,131
受 験 率	100.00	90.32	0.00	95.29	95.89	95.85	92.31	94.55	0.00	0.00	0.00	88.73	94.46
合格者数	1	46	0	227	554	177	172	76	0	0	0	99	1,352
合 格 率	100.00	82.14	0.00	65.99	69.86	54.80	44.79	73.08	0.00	0.00	0.00	78.57	63.44
平均点	82.00	68.64	0.00	65.40	67.03	61.50	58.12	70.08	0.00	0.00	0.00	71.30	64.77
年 齢	50.0	27.1	0.0	23.1	25.0	23.0	27.3	26.5	0.0	0.0	0.0	29.9	25.2
勤続年数	26.0	2.5	0.0	0.8	3.0	1.6	3.8	1.5	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5

りです。

〈手形・小切手〉の分野では〔問－21〕自己宛小切手の1問、〈融資〉の分野では〔問－35〕抵当権、〔問－40〕第三者による弁済の2問で、計3問でした。

とくに正解率が低かった〔問－35〕は、抵当権の効力について問うものでした。抵当権者が第三者に抵当権を主張するためには、抵当権設定登記がなされていることが必要ですが、抵当権は、抵当権者と抵当権設定者との抵当権設定契約によって成立し、登記をしなくても当事者間では効力が生じます。過去に類題も出題されていますので、問題解説集等を活用して知識の見直しを図ってください。

■ 財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者数 6,051 名中受験者は 4,924 名で、合格者は 1,159 名でした。合格率は 23.54%、平均点は 44.12 点と、合格率は前回は上回りました。

最高点は 92 点で、坂本研人さん（千葉銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

最も平均点が低かった問題は、〔問題－4〕税効果会計（平均点：0.42 点）でした。次に低かった問題は、〔問題－10〕長期資金収支予定表の作成（平均点：4.11 点）でした。

〔問題－4〕は、与えられた資料から税効果会計に関する各項目の額を算出する問題です。過去

にも出題歴がありますが、平均点は低調でした。税務上の調整項目が、「将来減算一時差異」や「将来加算の一時差異」など、どの差異に該当するのかを判断しなければ得点できないため、正確な知識が求められます。

〔問題－10〕は、長期資金収支予定表を作成し、算出した数値に基づき融資の返済可能性を検討する問題です。本問は、久しぶりに出題されたこともあり、平均点は低調でした。

一方で、〔問題－7〕安全性指標における比較分析、〔問題－8〕企業の株主還元と配当政策は、よく解答できていました。

全体の傾向として、四捨五入か切上げかの指示に沿わない金額等を記載する誤り、設問の指示にある計算過程を明示しないミスが多く見受けられました。

学習する際には、設問の指示に留意してケアレスミスなく解答できるよう、問題演習を行ってください。

■ 財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数 13,767 名中受験者は 12,268 名で、合格者は 3,797 名でした。合格率は 30.95%、平均点は 49.77 点と、ともに前回は下回りました。

最高点は 100 点で、宮内勇人さん（三井住友銀行）、渡邊孝さん（個人申込）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

〔表－4〕 財務2級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	176	2,482	120	415	1,668	71	103	6	47	1	9	953	6,051
応募比率	2.91	41.02	1.98	6.86	27.57	1.17	1.70	0.10	0.78	0.02	0.15	15.75	100.00
受験者数	164	2,078	95	325	1,431	62	87	5	32	1	7	637	4,924
受験率	93.18	83.72	79.17	78.31	85.79	87.32	84.47	83.33	68.09	100.00	77.78	66.84	81.37
合格者数	69	469	35	65	221	8	35	1	19	0	1	236	1,159
合格率	42.07	22.57	36.84	20.00	15.44	12.90	40.23	20.00	59.38	0.00	14.29	37.05	23.54
平均点	55.91	43.89	46.72	43.24	39.87	36.18	52.39	49.20	60.09	38.00	43.71	50.22	44.12
年齢	25.7	30.3	29.1	36.3	36.2	34.6	33.2	35	32.4	51	39.6	32.4	32.7
勤続年数	2.8	7.4	5.2	13.1	13.6	11.5	9.7	12.0	5.1	21.0	18.4	8.8	9.7

正解率が30%以下となった問題は、〔問－4〕流動性配列法にもとづく資産項目の記載区分、〔問－14〕新株予約権、〔問－16〕ファイナンス・リース取引、〔問－18〕連結貸借対照表上の純資産の額の算出、〔問－26〕合併における株式交付数の算出、〔問－27〕為替差損益の額の算出、〔問－49〕投資活動によるキャッシュ・フローの区分に記載されるものの7問でした。

〔問－4〕は、毎回出題されている問題です。資産については換金性の高い科目の順に、負債については支払期限の早い科目から記載する方法を流動性配列法といいます。本問では、流動性資産に区分される有価証券と商品の順番を誤った受験者が多くみられました。

〔問－27〕は、外貨建金銭債務（買掛金）の決算日における為替差損の計上額を算出する問題です。決算日においては、決算日の為替相場と取引発生時における為替相場の違いによる為替差損益が生じます。買掛金は金銭債務なので、決算日

の計上額が取引発生時よりも増加していると為替差損になる点に注意することがポイントになります。

〔問－26〕は、吸収合併の場合の合併比率を求め、消滅会社の株主に交付する存続会社の株式総数を算出する問題です。合併比率は、消滅会社の株式1株に対して、存続会社の株式を何株交付するかという割合を示すもので、「1：消滅会社の1株当り企業評価額／存続会社の1株当り企業評価額」で算出しますが、分母と分子を逆にして計算した受験者が多くみられました。

本種目では、基本的な項目を中心に、応用的な出題形式にも対応できる学習が期待されます。

財務4級

「財務4級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数1,394名中受験者は1,319名で、合格者は747名でした。合格率は56.63%、平均点62.49

〔表－5〕財務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	757	4,092	219	1,158	3,754	531	492	29	193	4	92	2,446	13,767
応募比率	5.50	29.72	1.59	8.41	27.27	3.86	3.57	0.21	1.40	0.03	0.67	17.77	100.00
受験者数	714	3,685	175	1,052	3,457	467	462	26	144	4	77	2,005	12,268
受験率	94.32	90.05	79.91	90.85	92.09	87.95	93.90	89.66	74.61	100.00	83.70	81.97	89.11
合格者数	511	1,031	72	248	707	83	135	7	67	2	19	915	3,797
合格率	71.57	27.98	41.14	23.57	20.45	17.77	29.22	26.92	46.53	50.00	24.68	45.64	30.95
平均点	66.41	48.96	54.27	46.30	45.03	43.54	49.47	49.15	56.14	56.50	45.61	56.13	49.77
年齢	24.5	27.0	28.7	28.4	28.9	30.4	33.3	30.5	29.5	24.0	38.8	30.0	28.5
勤続年数	1.4	4.3	5.7	6.0	6.6	8.1	10.5	8.2	6.2	6.8	16.5	6.1	5.7

〔表－6〕財務4級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	0	57	1	204	702	142	145	8	0	0	0	135	1,394
応募比率	0.00	4.09	0.07	14.63	50.36	10.19	10.40	0.57	0.00	0.00	0.00	9.68	100.00
受験者数	0	53	1	178	680	134	143	7	0	0	0	123	1,319
受験率	0.00	92.98	100.00	87.25	96.87	94.37	98.62	87.50	0.00	0.00	0.00	91.11	94.62
合格者数	0	34	1	94	404	67	57	4	0	0	0	86	747
合格率	0.00	64.15	100.00	52.81	59.41	50.00	39.86	57.14	0.00	0.00	0.00	69.92	56.63
平均点	0.00	66.15	62.00	59.37	63.93	59.48	56.01	65.71	0.00	0.00	0.00	68.08	62.49
年齢	0.0	24.2	23.0	24.6	26.1	25.3	25.6	35.9	0.0	0.0	0.0	32.6	26.4
勤続年数	0.0	3.4	0.0	2.5	4.4	3.4	2.9	5.8	0.0	0.0	0.0	8.5	4.3

点と、合格率は前回より下回りました。

最高点は100点で、清水達也さん(但陽信用金庫)、渡邊孝さん(個人申込)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題はありませんでした。〔問-50〕営業活動によるキャッシュ・フローの加算項目の正解率がやや低くなりました。

〔問-50〕は、営業活動によるキャッシュ・フローにおいて加算項目となるものを選択する問題です。営業活動に係る資産の減少と負債の増加は、キャッシュの増加を表します。棚卸資産の減少は、営業資産が売却されたことを示し、キャッシュの増加となるため、キャッシュ・フローがプラスとなります。

一方で、正解率が80%を超えた問題は、〔問-1〕簿記上の取引となるもの、〔問-3〕取引要素の結合関係、〔問-9〕伝票から推定される取引、〔問-15〕受取手形を裏書譲渡した取引の仕訳、〔問-17〕借入金・当座預金・支払利息、〔問-33〕特別損益に該当しないものの6問でした。

本種目では、簿記の基本、各勘定取引、財務諸表、財務分析と幅広く出題されます。上級の3級や2級で応用が利くように基礎レベルの知識をしっかりと身につけることが求められます。

税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表-7〕のとおり

です。

応募者数7,901名中受験者は7,026名で、合格者は3,151名でした。合格率は44.85%、平均点は55.03点と、ともに前回(2019年10月)を上回りました。

最高点は100点で、柴田宏幸さん(福岡市農業協同組合)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%を下回った問題は、〈所得税〉分野では〔問-12〕土地建物等の譲渡にかかる所得税額の計算方法、〔問-13〕事業所得の金額の計算の2問、〈相続税・贈与税〉分野では〔問-23〕生前贈与加算、〔問-25〕相続税の課税対象、〔問-33〕家屋の評価の3問で、計5問でした。

今回は正解率が70%を上回る問題が10問あり、よく学習されていることがうかがえました。

本種目では、「所得控除」と「税額控除」や、「配偶者に対する相続税額軽減」と「贈与税の配偶者控除」など、混乱しやすいものがあります。そのため学習にあたっては、用語の意味を正確に覚え、内容を整理して理解することがポイントになります。

証券3級

「証券3級」の成績結果は、〔表-8〕のとおりです。

応募者数419名中受験者は356名で、合格者は91名でした。合格率は25.56%、平均点は50.34点と、ともに前回を下回りました。

〔表-7〕 税務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	86	2,731	150	541	1,796	283	1,043	110	96	4	55	1,006	7,901
応募比率	1.09	34.57	1.90	6.85	22.73	3.58	13.20	1.39	1.22	0.05	0.70	12.73	100.00
受験者数	78	2,462	123	476	1,647	247	968	102	76	4	46	797	7,026
受 験 率	90.70	90.15	82.00	87.99	91.70	87.28	92.81	92.73	79.17	100.00	83.64	79.22	88.93
合格者数	44	1,122	78	187	684	80	388	60	36	2	27	443	3,151
合 格 率	56.41	45.57	63.41	39.29	41.53	32.39	40.08	58.82	47.37	50.00	58.70	55.58	44.85
平均点	61.23	55.18	62.31	52.83	53.70	50.15	53.07	58.33	56.21	58.00	59.57	60.01	55.03
年 齢	26.2	27.1	28.2	30.1	30.4	34.0	33.2	28.4	36.6	35.8	36.5	31.8	29.9
勤続年数	2.6	4.2	4.0	7.6	8.0	11.5	10.3	4.3	11.3	2.5	12.9	7.6	6.9

最高点は94点で、栗原祐弥さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-5〕金融商品取引業の行為規制、〔問-15〕金融商品取引業者等の広告等・景品類の規制、〔問-20〕地方債・政府機関債、〔問-22〕社債の発行、〔問-39〕短期金融市場、〔問-40〕企業の株式公開・資金調達、〔問-43〕個人の有価証券運用にかかる税制、〔問-44〕法人の資金運用にかかる税制、〔問-46〕証券決済制度、および〔問-49〕会社法関係の10問でした。

解答状況を見ると、過去問で頻出の論点については、問題解説集をしっかりと学習された受験者は十分に対応できていたように見受けられますが、最近の制度改正に関連する内容や過去問であまり取り上げていない論点を含む問題は正解にたどり着けなかった受験者が少なからずいたようです。例年難度が高い傾向にある問題や分野については今回は例年どおりの得点状況でした。

本種目の受験にあたっては、毎回問われている論点であっても切り口を変えた出題もありますので、正誤の判定ポイントとなる事項を十分に理解しておく必要があります。また、基本事項を理解することに加え、近年の制度改正や市場動向にも目を向けておくことが望まれます。

外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表-9〕のとおりです。

応募者数1,768名中受験者は1,563名で、合格者は995名でした。合格率は63.66%、平均点は62.60点と、ともに前回は上回りました。

最高点は94点で、山本一章さん(愛媛銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-10〕信用状の性質、〔問-12〕輸出貿易管理、〔問-18〕債権回収のリスクヘッジ方法、〔問-47〕海外輸出債権の回収におけるアドバイス、〔問-

〔表-8〕証券3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	12	155	22	27	55	5	52	4	3	9	0	75	419
応募比率	2.86	36.99	5.25	6.44	13.13	1.19	12.41	0.95	0.72	2.15	0.00	17.90	100.00
受験者数	11	142	20	17	46	5	48	4	0	9	0	54	356
受験率	91.67	91.61	90.91	62.96	83.64	100.00	92.31	100.00	0.00	100.00	0.00	72.00	84.96
合格者数	3	36	5	5	9	2	13	4	0	3	0	11	91
合格率	27.27	25.35	25.00	29.41	19.57	40.00	27.08	100.00	0.00	33.33	0.00	20.37	25.56
平均点	50.55	49.90	50.40	48.59	48.65	62.40	52.29	68.50	0.00	52.22	0.00	48.93	50.34
年齢	38.6	32.3	30.5	34.1	37.8	35.8	31.1	35.5	0.0	29.0	0.0	37.5	33.8
勤続年数	12.0	9.1	6.8	11.2	15.7	9.0	7.9	11.5	0.0	5.7	0.0	13.0	10.4

〔表-9〕外国為替3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	243	847	51	46	152	2	3	0	1	0	0	423	1,768
応募比率	13.74	47.91	2.88	2.60	8.60	0.11	0.17	0.00	0.06	0.00	0.00	23.93	100.00
受験者数	220	776	36	45	134	2	3	0	1	0	0	346	1,563
受験率	90.53	91.62	70.59	97.83	88.16	100.00	100.00	0.00	100.00	0.00	0.00	81.80	88.40
合格者数	170	464	18	24	91	1	2	0	1	0	0	224	995
合格率	77.27	59.79	50.00	53.33	67.91	50.00	66.67	0.00	100.00	0.00	0.00	64.74	63.66
平均点	67.88	61.08	59.44	60.27	62.24	62.00	63.33	0.00	68.00	0.00	0.00	63.38	62.60
年齢	25.7	30.1	34.8	30.1	36.8	36.0	26.7	0.0	34.0	0.0	0.0	32.0	30.6
勤続年数	2.2	7.0	10.2	8.1	14.7	11.5	3.0	0.0	12.0	0.0	0.0	7.5	7.3

49) 海外進出を検討する際の主な目的と実現に向けた対応、〔問－50〕輸出入取引の特徴的な取引類型の6問でした。

前回に比べ、全体の平均点・合格率ともに高くなりました。その中でも、とくに輸入為替・輸出為替の分野について、大幅に平均点が上昇する一方、予約・為替相場の分野では平均点が下がるという傾向がみられました。

信託実務3級

「信託実務3級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数3,218名中受験者は2,819名で、合格者は1,262名でした。合格率は44.77%、平均点は54.77点と、ともに前回は上回りました。

最高点は98点で、鈴木桃子さん（日本マスタートラスト信託銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕日本の信託の歴史、〔問－6〕信託銀行の説明義務等、〔問－11〕相殺の制限、〔問－13〕信託管理人、〔問－25〕国民年金基金制度、〔問－30〕運用有価証券信託の6問でした。過去の出題頻度が低い論点が含まれる問題では、正答を絞り切れなかった受験者が少なからずいたようです。

一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問－15〕信託税制、〔問－37〕資産流動化の対象資産、〔問－38〕金銭債権の信託の3問でした。いずれも過去問で頻出の問題であり、高い正解率と

なりました。

本種目の学習においては、信託の基本的な考え方を理解し、制度を正確に把握することが重要です。基本書となる参考書や通信講座を学習するとともに、各種関連法令にも実際にあたることをお勧めします。

預かり資産アドバイザー2級

「預かり資産アドバイザー2級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数791名中受験者は719名で、合格者は187名でした。合格率は26.01%、平均点は50.14点となりました。

最高点は86点で、高野俊彦さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈業務知識〉において正解率が30%以下となった問題は、〔問－2〕GDPと経済成長率、〔問－9〕投資信託の基本的な仕組み、〔問－12〕投資信託の課税関係、〔問－20〕個人年金保険の受取方法、〔問－21〕生命保険料控除の5問でした。なお、正解率の高かった問題（正解率80%以上）も5問ありました。

〈技能・応用〉において平均点が5点を下回った問題は、〔問題－26〕投資指標の1題でした。〔問題－26〕はROE、PER、PBR、配当性向、配当利回りについての理解度を測る問題でしたが、配当性向、配当利回りはあまり出題されていなかったことから、学習が及ばなかった部分と推察します。

〔表－10〕 信託実務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	48	543	1,319	303	59	0	25	3	1	37	1	879	3,218
応募比率	1.49	16.87	40.99	9.42	1.83	0.00	0.78	0.09	0.03	1.15	0.03	27.32	100.00
受験者数	46	488	1,203	259	53	0	23	3	1	34	1	708	2,819
受 験 率	95.83	89.87	91.21	85.48	89.83	0.00	92.00	100.00	100.00	91.89	100.00	80.55	87.60
合格者数	20	168	655	55	19	0	9	1	1	19	0	315	1,262
合 格 率	43.48	34.43	54.45	21.24	35.85	0.00	39.13	33.33	100.00	55.88	0.00	44.49	44.77
平均点	57.43	50.88	58.95	40.48	54.15	0.00	53.04	55.33	86.00	59.18	42.00	55.26	54.77
年 齢	26.5	37.6	28.8	39.2	42.1	0.0	37.3	36.3	53.0	34.7	37.0	35.3	33.3
勤続年数	3.2	14.9	4.6	17.9	16.1	0.0	14.5	10.5	30.0	4.2	13.0	9.4	9.3

預かり資産アドバイザー2級においては、過去に出題された問題をカバーすることはもちろん、現在金融機関において重要視されていること、業務上忘れてはならないことなど、押さえておくべきことが幅広くありますので、表面的なことばかりでなく、しっかりとその内面や周辺も理解しておくことが大切です。

■ 預かり資産アドバイザー3級

「預かり資産アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-12〕のとおりです。

応募者数1,235名中受験者は1,182名で、合格者は838名でした。合格率は70.90%、平均点は64.97点と、ともに前を下回りました。

最高点は94点で、近藤卓也さん（日本郵便㈱南関東支社）、甲野美玖さん（大垣共立銀行）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四答択一式問題〉において正解率が30%以下となった問題は、〔問-1〕資産形成・運用の必

要性、〔問-19〕景気動向指数、〔問-30〕リバランスの提案、〔問-37〕高齢者に対する勧誘ルールの4問でした。

〈事例付四答択一式問題〉において正解率が30%以下となった問題は、ありませんでした。計算問題の正解率も高く、よく学習されていることがうかがえました。

預かり資産アドバイザー3級は今回で2回目の実施となりましたが、過去問題から出題傾向をつかむことがまだ難しい分、通信講座や問題解説集掲載の練習問題を活用して試験対策をした受験者が多いと推察されます。より理解を深めるために、通信講座や問題解説集とあわせて、行政庁が公表するガイドライン等の資料を活用して学習することも大切です。

■ 金融経済3級

「金融経済3級」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

〔表-11〕 預かり資産アドバイザー2級・業態別成績一覧表(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	0	527	0	48	76	1	22	35	1	3	1	77	791
応募比率	0.00	66.62	0.00	6.07	9.61	0.13	2.78	4.42	0.13	0.38	0.13	9.73	100.00
受験者数	0	486	0	42	71	1	19	33	0	2	0	65	719
受 験 率	0.00	92.22	0.00	87.50	93.42	100.00	86.36	94.29	0.00	66.67	0.00	84.42	90.90
合格者数	0	119	0	14	21	0	3	6	0	1	0	23	187
合 格 率	0.00	24.49	0.00	33.33	29.58	0.00	15.79	18.18	0.00	50.00	0.00	35.38	26.01
平均点	0.00	50.34	0.00	48.19	48.94	20.00	48.32	51.09	0.00	61.50	0.00	51.43	50.14
年 齢	0.0	35.8	0.0	35.9	40.0	33.0	36.8	37.3	0.0	45.0	0.0	36.9	36.5
勤続年数	0.0	12.0	0.0	13.0	16.8	9.0	11.1	13.8	0.0	26.0	0.0	12.8	12.8

〔表-12〕 預かり資産アドバイザー3級・業態別成績一覧表(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	8	581	0	48	216	12	121	101	3	18	19	108	1,235
応募比率	0.65	47.04	0.00	3.89	17.49	0.97	9.80	8.18	0.24	1.46	1.54	8.74	100.00
受験者数	8	555	0	46	213	12	116	98	3	16	18	97	1,182
受 験 率	100.00	95.52	0.00	95.83	98.61	100.00	95.87	97.03	100.00	88.89	94.74	89.81	95.71
合格者数	6	442	0	35	127	6	62	70	2	13	14	61	838
合 格 率	75.00	79.64	0.00	76.09	59.62	50.00	53.45	71.43	66.67	81.25	77.78	62.89	70.90
平均点	67.25	67.33	0.00	65.61	61.90	58.17	59.86	64.55	64.00	68.50	67.44	64.12	64.97
年 齢	41.8	31.3	0.0	29.0	38.7	33.0	37.8	37.2	44.0	32.9	45.1	39.6	34.7
勤続年数	13.8	8.7	0.0	8.0	14.6	11.9	15.5	12.6	23.0	12.8	21.1	14.3	11.6

応募者数 1,368 名中受験者は 1,196 名で、合格者は 397 名でした。合格率は 33.19%、平均点は 52.66 点と、ともに前回は下回りました。

最高点は 86 点で、伊藤宏樹さん（個人申込）、佐伯敦生さん（香川県信用農業協同組合連合会）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈金融〉では〔問－5〕商品市場、〔問－15〕LIBOR、〔問－19〕新型コロナウイルス感染症拡大のリスクの 3 問、〈経済〉では〔問－33〕日銀短観、〔問－37〕世界の名目 GDP、〔問－38〕わが国の EPA・FTA の 3 問、〈財政〉では〔問－49〕地方財政の 1 問で、計 7 問でした。

本種目では時事問題が出題されるため、日頃から報道に関心を持ち、金融・経済の動きを把握することが求められます。そのためには、日本や主要各国の基本的な特徴と、年単位での大きな動きを理解していることが重要です。問題解説集の解説で基本的事項を把握しつつ、時事問題に取り組

むことが学習に役立ちます。

■ デリバティブ 3 級

「デリバティブ 3 級」の成績結果は、〔表－14〕のとおりです。

応募者数 411 名中受験者は 328 名で、合格者は 101 名でした。合格率は 30.79%、平均点は 50.40 点と、ともに前回は下回りました。

最高点は 94 点で、平等直樹さん（旭川信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下の問題は、〔問－15〕株価指数先物を利用した裁定取引、〔問－25〕株価連動債、〔問－32〕金利スワップの市場規模、〔問－38〕OIS、〔問－43〕ディスカウント・ファクター、〔問－44〕金利スワップ取引の損益の 6 問と、平均的によく得点されていました。

〔問－15〕〔問－25〕〔問－32〕は新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問－38〕〔問－43〕〔問－44〕は、定番のテ

〔表－13〕金融経済 3 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都 特	銀 地	銀 信	託 第	二 地	銀 信	金 信	組 信	連 農	協 農	労 金	生 損	保 保	証 券	郵 政	他 個	団 人	全 体
応募者数	44	617	51	95	129	41	34	8	42	12	15	280	1,368					
応募比率	3.22	45.10	3.73	6.94	9.43	3.00	2.49	0.58	3.07	0.88	1.10	20.47	100.00					
受験者数	39	558	38	80	113	35	34	8	39	12	12	228	1,196					
受験率	88.64	90.44	74.51	84.21	87.60	85.37	100.00	100.00	92.86	100.00	80.00	81.43	87.43					
合格者数	17	183	13	27	28	10	20	6	11	3	4	75	397					
合格率	43.59	32.80	34.21	33.75	24.78	28.57	58.82	75.00	28.21	25.00	33.33	32.89	33.19					
平均点	57.03	53.15	52.79	53.05	49.91	50.74	59.41	63.00	48.77	52.00	52.33	51.57	52.66					
年齢	27.4	30.6	33.9	34.3	37.5	34.4	34.1	31.3	31.2	26.1	43.9	35.1	32.7					
勤続年数	3.7	7.4	10.5	11.4	14.7	10.7	11.3	7.6	6.8	2.1	22.3	11.6	9.5					

〔表－14〕デリバティブ 3 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都 特	銀 地	銀 信	託 第	二 地	銀 信	金 信	組 信	連 農	協 農	労 金	生 損	保 保	証 券	郵 政	他 個	団 人	全 体
応募者数	16	212	21	9	15	1	3	2	1	0	0	131	411					
応募比率	3.89	51.58	5.11	2.19	3.65	0.24	0.73	0.49	0.24	0.00	0.00	31.87	100.00					
受験者数	11	183	17	6	14	1	3	2	1	0	0	90	328					
受験率	68.75	86.32	80.95	66.67	93.33	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	68.70	79.81					
合格者数	4	52	4	3	3	0	2	2	0	0	0	31	101					
合格率	36.36	28.42	23.53	50.00	21.43	0.00	66.67	100.00	0.00	0.00	0.00	34.44	30.79					
平均点	53.45	49.70	47.88	52.67	51.43	48.00	52.67	63.00	34.00	0.00	0.00	51.44	50.40					
年齢	28.5	32.9	33.9	32.0	39.8	31.0	36.7	37.5	57.0	0.0	0.0	33.1	33.3					
勤続年数	5.8	9.6	11.0	6.6	14.9	5.0	13.0	14.5	38.0	0.0	0.0	8.6	9.6					

マであり、問う内容も従前の傾向どおりなので意外な結果となりました。

■ 窓口セールス3級

「窓口セールス3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数875名中受験者は815名で、合格者は361名でした。合格率は44.29%、平均点は56.65点と、ともに前を下回りました。

最高点は90点で、伊東朋香さん(百五銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-12〕顧客本位の業務運営、〔問-18〕公的年金制度、〔問-29〕外貨定期預金の商品性、〔問-46〕休眠預金の対象となる預金、〔問-50〕国民年金保険料の追納および老齢給付の5問でした。

「年金に関する知識」の問題は、複雑な内容であるものも多いですが、金融機関の窓口を訪れるお客様の関心度が高い内容だと考えられます。よ

りよいお客様対応につなげることができるよう通信講座等を活用し理解を深めていくことが大切です。

■ 年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-16〕のとおりです。

応募者数11,313名中受験者は10,256名で、合格者は4,968名でした。合格率は48.44%、平均点は56.56点と、ともに前を上回りました。

最高点は100点で、高地美帆さん(日本郵便(株)信越支社)、小瀧美千代さん(個人申込)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率30%以下の問題は、〔問-19〕65歳未満の在職老齢年金、〔問-28〕個人型確定拠出年金、〔問-35〕特別支給の老齢厚生年金の年金額、〔問-38〕高年齢求職者給付金および在職老齢年金との併給調整の4問と、平均的によく得点されていました。

〔表-15〕 窓口セールス3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	3	344	3	109	232	53	58	3	0	0	1	69	875
応募比率	0.34	39.31	0.34	12.46	26.51	6.06	6.63	0.34	0.00	0.00	0.11	7.89	100.00
受験者数	3	321	3	105	217	47	57	3	0	0	1	58	815
受 験 率	100.00	93.31	100.00	96.33	93.53	88.68	98.28	100.00	0.00	0.00	100.00	84.06	93.14
合格者数	1	165	3	45	91	14	19	2	0	0	1	20	361
合 格 率	33.33	51.40	100.00	42.86	41.94	29.79	33.33	66.67	0.00	0.00	100.00	34.48	44.29
平均点	56.67	59.13	73.33	56.67	55.67	50.77	52.18	62.00	0.00	0.00	74.00	54.28	56.65
年 齢	32.3	30.3	35.7	29.2	31.0	29.3	30.9	40.7	0.0	0.0	52.0	33.8	30.7
勤続年数	9.5	6.5	10.7	6.5	8.5	6.8	6.8	7.0	0.0	0.0	33.0	9.1	7.3

〔表-16〕 年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	11	272	4	62	757	241	999	37	64	2	5,506	3,358	11,313
応募比率	0.10	2.40	0.04	0.55	6.69	2.13	8.83	0.33	0.57	0.02	48.67	29.68	100.00
受験者数	9	230	3	56	698	219	945	32	50	2	5,185	2,827	10,256
受 験 率	81.82	84.56	75.00	90.32	92.21	90.87	94.59	86.49	78.13	100.00	94.17	84.19	90.66
合格者数	4	96	3	15	233	42	248	22	23	1	2,556	1,725	4,968
合 格 率	44.44	41.74	100.00	26.79	33.38	19.18	26.24	68.75	46.00	50.00	49.30	61.02	48.44
平均点	53.78	51.84	76.00	48.00	48.73	44.32	45.35	64.25	57.64	63.00	56.93	62.96	56.56
年 齢	45.1	34.9	31.0	31.3	34.1	32.3	33.0	34.8	33.0	51.5	39.8	42.0	39.1
勤続年数	17.1	11.2	8.0	8.6	11.8	9.7	10.1	9.9	6.7	17.5	16.2	15.6	14.6

〔問－19〕は、これまで「技能・応用」で出題しているものを「基本知識」で出題したため、とまどいがあったのかもしれませんが。

〔問－28〕は、個人型確定拠出年金というテーマで何問も出題できるほど多くの内容があるため、ほぼ毎回のように新作の選択肢を出題します。このため、難度の高い問題といえます。

〔問－35〕は、これまで「計算式＋年金額」を選択肢として出題していたものを、今回、年金額のみとしました。このため、難度が上がったといえます。

〔問－38〕は新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

今回の試験は、最近実施の同種目の中では非常に好結果で、正解率が低い問題も少なく、受験者の方がよく学習していることがうかがえました。

法人融資渉外2級

「法人融資渉外2級」の成績結果は、〔表－17〕のとおりです。

応募者数585名中受験者は495名で、合格者は111名でした。合格率は22.42%、平均点は49.36点と、ともに前回は上回りました。

最高点は80点で、佐藤秀樹さん（群馬銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

今回、平均点が3点以下の問題はありませんでした。

一方、平均点が5点を越えた問題はⅠ〔損益分岐点分析〕、Ⅱ〔増加運転資金の申込みと妥当性

の判断〕、Ⅶ〔事業承継・M&A〕、Ⅹ〔コンプライアンス（マネロン対策）〕の4問でした。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、金融機関の取引先も大きな影響を受けています。また、これまでの融資手法にも変化が求められています。法人融資渉外2級で学んだ知識をベースに、取引先への渉外にお役立てください。

法人融資渉外3級

「法人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－18〕のとおりです。

応募者数732名中受験者は649名で、合格者は156名でした。合格率は24.04%、平均点は50.22点と、ともに前回は下回りました。

最高点は76点で、谷許健太郎さん（中国銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は〈基本知識（択一式）〉と〈技能応用（記述式）〉で構成されています。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問－5〕改正民法、〔問－6〕貿易取引と為替変動リスク、〔問－7〕経営者保証に関するガイドライン、〔問－13〕事業承継税制、〔問－15〕各種担保の性質、〔問－27〕相続税支払資金ニーズ等、〔問－28〕中小企業再生支援協議会の再生計画、〔問－29〕M&Aに関する参考数値、〔問－31〕債権回収、〔問－33〕M&Aの10問でした。

〈技能応用〉の3題の平均点は、各10点中、〔問題－1〕資金繰実績予想表の作成6.55点、〔問題－2〕貸出金セールス4.18点、〔問題－3〕コン

〔表－17〕 法人融資渉外2級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	5	398	1	29	63	13	2	0	0	0	0	74	585
応募比率	0.85	68.03	0.17	4.96	10.77	2.22	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	12.65	100.00
受験者数	5	343	1	21	54	12	1	0	0	0	0	58	495
受験率	100.00	86.18	100.00	72.41	85.71	92.31	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	78.38	84.62
合格者数	3	78	0	4	11	1	0	0	0	0	0	14	111
合格率	60.00	22.74	0.00	19.05	20.37	8.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.14	22.42
平均点	59.80	49.68	34.00	47.05	45.24	47.83	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	52.16	49.36
年齢	27.8	33.2	27	35	37.6	38.1	38	0	0	0	0	34.1	33.9
勤続年数	4.2	10.3	0.0	12.5	14.7	16.9	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.4	11.0

プライアンス 7.40 点でした。

今回は 2020 年 4 月に施行された民法の改正に関する問題と、事業承継に関する問題の正解率が低い結果となりました。法人融資渉外において、上記のテーマは実務に大きくかかわることですので、基本的な知識をしっかりと身につけるために当試験をご活用ください。

■金融商品取引3級

「金融商品取引 3 級」の成績結果は、〔表 - 19〕のとおりです。

応募者数 594 名中受験者は 531 名で、合格者は 183 名でした。合格率は 34.46%、平均点は 51.27 点と、ともに前回は上回りました。

最高点は 84 点で、小林武さん（東和銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下の問題は、〔問 - 13〕契約締結前交付書面、契約締結時等交付書面、〔問 - 16〕犯罪収益移転防止法、〔問 - 24〕保険募集指

針、〔問 - 28〕契約概要、〔問 - 39〕レバレッジ投資信託、〔問 - 44〕保険募集制限先規制、タイミング規制、融資担当者分離規制の 6 問と、平均的によく得点されていましたが、やや保険分野が多い傾向でした。

〔問 - 13〕は定番のテーマで、問う内容も従前の傾向どおりなので意外な結果となりました。

〔問 - 16〕は定番のテーマであるものの、問う内容がこれまでにないものであったため難度の高い問題であったといえます。

〔問 - 24〕〔問 - 28〕〔問 - 44〕は定番のテーマであるものの、受験者がやや苦手としている問題です。

〔問 - 39〕は新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

■相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー 3 級」の成績結果は、〔表 - 20〕のとおりです。

〔表 - 18〕法人融資渉外3級・業態別成績一覧表 (合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	9	296	0	130	183	59	6	0	0	0	0	49	732
応募比率	1.23	40.44	0.00	17.76	25.00	8.06	0.82	0.00	0.00	0.00	0.00	6.69	100.00
受験者数	8	264	0	108	170	52	6	0	0	0	0	41	649
受 験 率	88.89	89.19	0.00	83.08	92.90	88.14	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	83.67	88.66
合格者数	5	86	0	19	32	5	1	0	0	0	0	8	156
合 格 率	62.50	32.58	0.00	17.59	18.82	9.62	16.67	0.00	0.00	0.00	0.00	19.51	24.04
平均点	59.38	52.90	0.00	48.89	48.80	44.65	52.50	0.00	0.00	0.00	0.00	47.32	50.22
年 齢	27.5	30.3	0	33.6	34.1	36.9	31.2	0	0	0	0	34.2	32.6
勤続年数	4.6	7.6	0.0	10.9	10.6	13.1	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9	9.6

〔表 - 19〕金融商品取引3級・業態別成績一覧表 (合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	10	294	3	27	159	4	9	20	1	0	1	66	594
応募比率	1.68	49.49	0.51	4.55	26.77	0.67	1.52	3.37	0.17	0.00	0.17	11.11	100.00
受験者数	9	268	2	23	144	4	9	18	1	0	1	52	531
受 験 率	90.00	91.16	66.67	85.19	90.57	100.00	100.00	90.00	100.00	0.00	100.00	78.79	89.39
合格者数	5	108	2	3	30	1	1	8	1	0	0	24	183
合 格 率	55.56	40.30	100.00	13.04	20.83	25.00	11.11	44.44	100.00	0.00	0.00	46.15	34.46
平均点	58.89	53.91	64.00	46.78	45.17	44.00	44.00	55.78	70.00	0.00	42.00	54.85	51.27
年 齢	25.4	33.0	46.5	35.3	32.9	35.0	39.0	30.8	36.0	0.0	55.0	33.9	33.2
勤続年数	2.0	10.4	38.0	12.4	10.5	13.0	13.6	7.7	13.0	0.0	0.0	8.6	10.2

応募者数 7,397 名中受験者は 6,769 名で、合格者は 3,210 名でした。合格率は 47.42%、平均点は 56.76 点と、ともに前回は上回りました。

最高点は 96 点で、高橋正敏さん（日本郵便㈱ 関東支社）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－9〕限定承認の手続き、〔問－11〕相続税の課税対象、〔問－13〕債務控除、〔問－18〕相続税の 2 割加算、〔問－38〕遺族年金と年金税制、〔問－46〕遺留分侵害額の計算の 6 問でした。

一方、正解率が 80% 以上となった問題は、〔問－7〕遺言の種類・取扱い・遺言能力、〔問－8〕遺言の執行、撤回・無効、〔問－21〕相続開始時の初期対応、〔問－25〕外国籍預金者が死亡した場合の対応、〔問－28〕貸金庫取引先の死亡・相続人からの開扉請求、〔問－36〕相続アドバイスとコンプライアンス、〔問－42〕相続預金の払戻し・仮払い制度の活用の 7 問でした。

解答状況を見ると、過去問で頻出の問題や論点については問題解説集や参考書により十分学習していたことがうかがわれましたが、その一方で、改正点や新しい論点を含む出題が含まれる問題においては頻出の論点の選択肢であっても正誤の判定にとまどった受験者も少なからずいたようでした。

受験に際しては、問題解説集だけでなく、基本書となる参考書・通信講座等を副読本としながら、改正点を含めて、知識を深めるとともに、過去問で取り上げられている論点については正確に

把握しておくことが望まれます。

■ 保険販売 3 級

「保険販売 3 級」の成績結果は、〔表－21〕のとおりです。

応募者数 691 名中受験者は 642 名で、合格者は 187 名でした。合格率は 29.13%、平均点は 51.60 点と、ともに前回は下回りました。

最高点は 82 点で、藤山裕子さん（遠賀信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－1〕保険の仕組み、〔問－4〕生命保険募集人、損害保険募集人、保険仲立人、〔問－6〕保険金受取人の変更、〔問－7〕生命保険の配当金、〔問－22〕法人契約の生命保険の保険料の税務処理、〔問－24〕住宅物件の火災保険、〔問－28〕火災保険契約の終了等、〔問－36〕傷害保険の代理請求人制度、〔問－46〕預金等との誤認防止の 9 問と、やや多めでした。

その内訳は、「保険業務の基礎知識」10 問中 4 問、「生命保険商品取扱いの知識」13 問中 1 問、「損害保険商品取扱いの知識」13 問中 3 問、「保険販売業務知識」14 問中 1 問と基礎知識、損害保険が苦手という傾向が現れました。

業務上、取扱いの多い生命保険や強い要請のあるコンプライアンス関連の知識はよく習得している傾向がありました。

〔表－20〕相続アドバイザー 3 級・業態別成績一覧表（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	45	971	16	121	539	95	1,119	41	6	11	2,914	1,519	7,397
応募比率	0.61	13.13	0.22	1.64	7.29	1.28	15.13	0.55	0.08	0.15	39.39	20.54	100.00
受験者数	38	884	14	104	494	89	1,059	34	5	10	2,723	1,315	6,769
受 験 率	84.44	91.04	87.50	85.95	91.65	93.68	94.64	82.93	83.33	90.91	93.45	86.57	91.51
合格者数	15	423	12	47	235	39	375	11	4	5	1,356	688	3,210
合 格 率	39.47	47.85	85.71	45.19	47.57	43.82	35.41	32.35	80.00	50.00	49.80	52.32	47.42
平均点	53.74	57.45	69.57	55.96	57.47	54.52	52.24	50.24	64.00	55.20	57.46	58.52	56.76
年 齢	38.9	36.2	38.1	34.2	39.5	38.1	37.5	41.5	51.6	33.6	42.2	41.6	40.2
勤続年数	17.5	13.2	14.9	9.4	16.1	14.0	13.9	16.0	28.3	10.6	18.8	16.5	16.3

■金融リスクマネジメント2級

「金融リスクマネジメント2級」の成績結果は、〔表-22〕のとおりです。

応募者数512名中受験者は442名で、合格者は131名でした。合格率は29.64%、平均点は53.73点と、ともに前回は上回りました。

最高点は81点で、仁科政紀さん（中国銀行）、市川真吾さん（しずおか焼津信用金庫）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四答択一式35問と記述式3題で構成されています。

四答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問-2〕企業危険と部門リスクマネジメント、〔問-16〕自賠責保険、自動車保険、〔問-17〕先物取引・先渡取引、〔問-24〕民法（債権法）改正点、〔問-26〕金融ADR制度、〔問-28〕マネロン関連、〔問-29〕法定相続情報証明制度、〔問-30〕預金の不正払戻しと被害補償、〔問-31〕個人との取引、〔問-35〕検査マニユ

アル廃止後の融資に関する検査・監督の考え方と進め方の10問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-9〕サイバーセキュリティ、〔問-14〕投資信託の解約、償還、〔問-15〕保険契約の締結等に関する禁止行為、〔問-21〕検査・監督基本方針、〔問-23〕外国人の預貯金口座・送金利用について、〔問-34〕中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針の6問でした。

本種目の学習にあたっては、過去問題で出題傾向を把握し、毎事務年度の金融行政方針をはじめとする関連資料や、大きな法改正のあった法令などを確認・整理しておくことが大切です。

■事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表-23〕のとおりです。

応募者数1,205名中受験者は1,102名で、合格者は761名でした。合格率は69.06%、平均点は

〔表-21〕保険販売3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全 体
応募者数	5	458	1	14	69	1	39	0	0	0	2	102	691
応募比率	0.72	66.28	0.14	2.03	9.99	0.14	5.64	0.00	0.00	0.00	0.29	14.76	100.00
受験者数	4	427	1	12	67	1	38	0	0	0	2	90	642
受験率	80.00	93.23	100.00	85.71	97.10	100.00	97.44	0.00	0.00	0.00	100.00	88.24	92.91
合格者数	0	128	1	0	20	1	10	0	0	0	1	26	187
合格率	0.00	29.98	100.00	0.00	29.85	100.00	26.32	0.00	0.00	0.00	50.00	28.89	29.13
平均点	49.50	52.03	62.00	45.17	51.82	62.00	49.95	0.00	0.00	0.00	56.00	50.71	51.60
年齢	38.3	31.7	47.0	35.2	34.3	31.0	34.9	0.0	0.0	0.0	53.5	35.5	32.9
勤続年数	7.5	8.7	24.0	12.3	12.5	9.0	12.2	0.0	0.0	0.0	33.0	13.3	10.0

〔表-22〕金融リスクマネジメント2級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全 体
応募者数	5	165	5	125	124	7	8	35	0	0	0	38	512
応募比率	0.98	32.23	0.98	24.41	24.22	1.37	1.56	6.84	0.00	0.00	0.00	7.42	100.00
受験者数	5	145	4	106	110	4	7	34	0	0	0	27	442
受験率	100.00	87.88	80.00	84.80	88.71	57.14	87.50	97.14	0.00	0.00	0.00	71.05	86.33
合格者数	2	54	2	26	28	1	2	6	0	0	0	10	131
合格率	40.00	37.24	50.00	24.53	25.45	25.00	28.57	17.65	0.00	0.00	0.00	37.04	29.64
平均点	57.80	56.46	55.00	51.78	53.35	54.50	54.86	46.71	0.00	0.00	0.00	55.70	53.73
年齢	43.2	40.5	38	40.7	43.7	48.8	42.3	37.7	0	0	0	40.7	41.2
勤続年数	18.8	17.5	12.0	17.5	20.5	26.3	20.2	14.2	0.0	0.0	0.0	13.6	17.9

63.48点と、ともに前回は上回りました。

最高点は90点で、渡部哲也さん(伊予銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問-2〕金融機関と企業のコミュニケーション、〔問-4〕経営者保証、〔問-23〕中小企業支援に活かす公的支援、〔問-29〕外部専門家の活用、〔問-34〕動産担保の活用、〔問-39〕地方創生の6問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-1〕令和元事務年度金融行政方針の理解：金融仲介機能、〔問-3〕共通価値の創造、〔問-5〕事業承継時における保証徴求割合(4類型)の算出、〔問-6〕今後の地域金融機関の持続可能なビジネスモデルの構築、〔問-7〕金融検査マニュアルの廃止と今後の取組み、〔問-14〕強みの理解、〔問-22〕経営者保証に関するガイドライン、〔問-26〕地域に根ざした地域金融機関のあるべき姿、〔問-27〕キャッシュ・コンバージョン・サイクル(CCC)、〔問-32〕取引先が属する業界の理解(製造業)、〔問-35〕取引先が属する業界の理解(運送業)、〔問-36〕ビジネスモデル・商流、〔問-37〕経営改善、〔問-41〕SWOT分析、〔問-48〕コベナンツの設定、〔問-50〕低迷期企業への取組みの16問でした。

事業性評価において、取引先の現状やその取り巻く環境をよく理解したうえで、動産担保や外部専門家等の活用を検討することは、取引先支援の有効な手段の1つです。本種目において様々な支

援方法について理解を深め、実務につなげてください。

■ 営業店マネジメント I

「営業店マネジメント I」の成績結果は、〔表-24〕のとおりです。

応募者数1,038名中受験者は902名で、合格者は211名でした。合格率は23.39%、平均点は54.85点と、ともに前回は下回りました。

最高点は71点で、藤本祐良さん(りそな銀行)、山田健介さん(名古屋銀行)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

今回、平均点が5点を下回った問題は、〈組織活性化〉の分野で出題した〔問題-4〕リーダーシップ、〈営業推進・営業管理〉の分野で出題した〔問題-6〕年齢別の業務推進、〔問題-7〕店周別の営業推進、〈経営関連一般常識〉の分野で出題した〔問題-10〕金融行政の理解の4題でした。

〔問題-4〕では、PM理論について簡潔に説明する問題において、無回答が多くみられました。PM理論はリーダーシップを目標達成能力(P)と集団維持能力(M)の2つの観点を用いて比較分析する方法であり、管理職としての自身の強み、弱みがどこにあるのかを理解するうえで有効です。

優れたマネジメントを実践するうえで、その裏付けとなる理論や座学についても深い理解が求められます。それらの知識にも日頃から積極的な

〔表-23〕 事業性評価3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	158	358	0	65	338	90	60	7	2	1	0	126	1,205
応募比率	13.11	29.71	0.00	5.39	28.05	7.47	4.98	0.58	0.17	0.08	0.00	10.46	100.00
受験者数	152	327	0	57	315	82	58	4	2	1	0	104	1,102
受 験 率	96.20	91.34	0.00	87.69	93.20	91.11	96.67	57.14	100.00	100.00	0.00	82.54	91.45
合格者数	145	262	0	28	172	40	30	3	2	0	0	79	761
合 格 率	95.39	80.12	0.00	49.12	54.60	48.78	51.72	75.00	100.00	0.00	0.00	75.96	69.06
平均点	71.88	65.80	0.00	58.91	59.57	57.71	58.59	61.50	68.00	46.00	0.00	65.67	63.48
年 齢	30.5	33.6	0.0	33.2	37.4	38.6	39.7	33.5	46.5	48.0	0.0	35.2	35.1
勤続年数	7.9	10.9	0.0	10.9	14.9	15.7	18.3	7.7	23.0	0.0	0.0	11.2	12.4

関心をもち、より強固な学習基盤を築き上げていただきたいと思います。

■ 営業店マネジメントⅡ

「営業店マネジメントⅡ」の成績結果は、〔表-25〕のとおりです。

応募者数1,642名中受験者は1,512名で、合格者は668名でした。合格率は44.18%、平均点は57.14点と、ともに前回を下回りました。

最高点は82点で、河原一世さん（山陰合同銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四答択一式と記述式で構成されています。

四答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問-21〕預かり資産営業とリスクマネジメント、〔問-27〕ファイブ・フォース分析の2問でした。また、記述式で平均点が5点を下回った問題は、〈営業推進〉の分野で出題した〔問-45〕営業店におけるマーケティング戦略の策定の

1題でした。

今回の結果は、前回の平均点を下回りましたが、過去に出題したことのあるテーマの問題については、択一式・記述式ともに概ね良好な結果となり、傾向をつかんで確実に得点を上げている印象を受けました。

本種目の出題範囲は多岐にわたりますが、初級管理職が組織の先導役として高い業務目標を実現するためには、どれも欠かすことのできないものです。今後も銀行業務のマネジメントにおいて求められる知識や考えを重点的に出題していきますので、当試験を学習のツールとして大いにご活用ください。

■ 個人融資渉外3級

「個人融資渉外3級」の成績結果は、〔表-26〕のとおりです。

応募者数803名中受験者は745名で、合格者は314名でした。合格率は42.15%、平均点は54.06

〔表-24〕 営業店マネジメントⅠ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	44	560	0	112	138	18	6	28	0	0	0	132	1,038
応募比率	4.24	53.95	0.00	10.79	13.29	1.73	0.58	2.70	0.00	0.00	0.00	12.72	100.00
受験者数	44	482	0	95	125	15	5	25	0	0	0	111	902
受験率	100.00	86.07	0.00	84.82	90.58	83.33	83.33	89.29	0.00	0.00	0.00	84.09	86.90
合格者数	14	110	0	19	32	3	0	7	0	0	0	26	211
合格率	31.82	22.82	0.00	20.00	25.60	20.00	0.00	28.00	0.00	0.00	0.00	23.42	23.39
平均点	56.84	54.57	0.00	54.69	55.22	53.73	52.80	56.08	0.00	0.00	0.00	54.96	54.85
年齢	40.1	41.4	0.0	40.9	43.4	45.5	45.8	37.6	0.0	0.0	0.0	41.1	41.5
勤続年数	17.3	17.9	0.0	17.2	20.2	23.3	28.0	14.0	0.0	0.0	0.0	17.1	18.0

〔表-25〕 営業店マネジメントⅡ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	10	538	0	199	362	80	70	256	1	0	0	126	1,642
応募比率	0.61	32.76	0.00	12.12	22.05	4.87	4.26	15.59	0.06	0.00	0.00	7.67	100.00
受験者数	10	487	0	180	341	76	64	242	1	0	0	111	1,512
受験率	100.00	90.52	0.00	90.45	94.20	95.00	91.43	94.53	100.00	0.00	0.00	88.10	92.08
合格者数	9	254	0	84	143	27	12	91	0	0	0	48	668
合格率	90.00	52.16	0.00	46.67	41.94	35.53	18.75	37.60	0.00	0.00	0.00	43.24	44.18
平均点	67.20	59.44	0.00	57.72	56.56	53.50	48.39	55.74	53.00	0.00	0.00	57.59	57.14
年齢	37.5	37.7	0	39.2	38.5	41.7	47.2	39.2	39	0	0	37.4	38.9
勤続年数	15.6	14.3	0.0	15.5	15.9	18.1	24.8	15.8	0.0	0.0	0.0	13.0	15.5

点と、ともに前回は上回りました。

最高点は87点で、船着敬介さん(中国銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、五答択一式15問、事例付五答択一式10事例20問および事例付記述式3題で構成されています。

〈基本知識〉の五答択一式および事例付五答択一式で正解率30%以下となった問題は、〔問-9〕定期借地権、〔問-13〕個人版事業承継税制、〔問-19〕フラット35(買取型)の推進、〔問-26〕無担保ローン申込対応(調査)の4問でした。

一方、正解率80%以上となった問題は、〔問-1〕個人ローン推進の意義等、〔問-3〕融資取引における顧客への説明、〔問-4〕カードローンの商品性、〔問-5〕マイカーローンの商品性、〔問-7〕リバース・モーゲージ、〔問-8〕火災保険、〔問-16〕ライフプランニングと資金ニーズの把握、〔問-20〕Dさんの返済比率の計算、〔問-35〕債権管理・貸出金保全措置の9問でした。

〈技能応用〉の事例付記述式は〔問題-1〕相続と承継債務の取扱いが出題した3題のなかではやや低調な結果となりました。

解答状況については、択一問題は最近頻出の問題については良好な結果となりました。正解率が低調だった問題は制度に関する詳細な知識が求められた問題であり、正答にたどり着くためには問題解説集+aの学習が必要となる出題も含まれていました。記述問題については各問題とも高得点

者はが多い反面、ほとんど解答できていない受験者も少なからずおり、得点に大きく差がでていました。

本種目は個人にかかる渉外業務に携わるうえで必要な業務知識の習得度合いを総合的に判定するものであり、出題内容が多岐にわたります。学習に際しては、融資業務の基本事項に加え、いままでの業務を通して積み重ねてきた法務・財務・税務等の基本的な知識を再確認しておくことが重要となります。

■事業承継アドバイザー3級

「事業承継アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-27〕のとおりです。

応募者数812名中受験者は712名で、合格者は260名でした。合格率は36.52%、平均点は54.61点と、ともに前回は下回りました。

最高点は81点で、江口正浩さん(北越銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-7〕後継者人材バンク、〔問-22〕同族株主、〔問-23〕事業再生を伴うM&A、〔問-25〕個人版事業承継税制、〔問-33〕M&Aの費用、〔問-34〕個人事業主の引継ぎ、〔問-35〕譲渡金額の計算の7問でした。

択一式の税務関連問題では低調な正解率であるものも散見されましたが、全体としては概ね良好な結果となりました。記述式問題においては、「事業承継税制」がよく記述できていました。

〔表-26〕個人融資渉外3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	1	282	1	60	182	43	187	7	1	0	1	38	803
応募比率	0.12	35.12	0.12	7.47	22.67	5.35	23.29	0.87	0.12	0.00	0.12	4.73	100.00
受験者数	1	267	1	50	168	39	180	7	1	0	1	30	745
受験率	100.00	94.68	100.00	83.33	92.31	90.70	96.26	100.00	100.00	0.00	100.00	78.95	92.78
合格者数	0	169	0	16	71	14	26	5	1	0	1	11	314
合格率	0.00	63.30	0.00	32.00	42.26	35.90	14.44	71.43	100.00	0.00	100.00	36.67	42.15
平均点	47.00	62.29	57.00	54.90	55.02	53.28	40.11	60.57	76.00	0.00	74.00	56.00	54.06
年齢	52	34.7	48	30.4	32.2	34.5	31.3	34.7	54	0	49	35.7	33.1
勤続年数	0.0	11.2	18.0	6.9	9.7	11.7	8.0	11.1	31.0	0.0	10.0	11.5	10.0

本種目の出題範囲は、事業承継やM&Aにかかる法務・税務の基本知識に加えて、取引先の現状把握・分析、融資手法、各工程のアドバイス、

公的支援の概要など、実務的な内容を多く含んでいます。今後も多様なテーマに対応できるよう、幅広く学習することが望まれます。

〔表-27〕事業承継アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	72	290	2	60	239	40	5	0	2	0	1	101	812
応募比率	8.87	35.71	0.25	7.39	29.43	4.93	0.62	0.00	0.25	0.00	0.12	12.44	100.00
受験者数	66	248	1	55	217	37	5	0	1	0	1	81	712
受験率	91.67	85.52	50.00	91.67	90.79	92.50	100.00	0.00	50.00	0.00	100.00	80.20	87.68
合格者数	41	116	0	10	55	8	2	0	0	0	0	28	260
合格率	62.12	46.77	0.00	18.18	25.35	21.62	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34.57	36.52
平均点	60.70	57.01	49.00	52.33	51.92	47.14	50.00	0.00	53.00	0.00	57.00	54.81	54.61
年齢	32.8	37	50	37.1	41	39.8	43.6	0	52	0	41	40.8	38.5
勤続年数	9.6	13.9	27.0	14.2	18.0	17.0	17.8	0.0	26.0	0.0	23.0	13.6	15.0

事務局からのお知らせ

「団体申込専用オンラインサービス」のご案内

「団体申込専用オンラインサービス」は、団体申込専用WEBサイトで、受験願書データの受渡しを行うサービスです。インターネット上で手続きが完了するため、願書・団体受験申込書の郵送が不要となります。

また、貴団体の過去3年間の成績一覧・統計資料をダウンロードできます。

現在、約350団体に本サービスをご利用いただいています。

銀行業務検定試験の団体申込におけるセキュリティの向上、および業務効率化のために、ぜひ「団体申込専用オンラインサービス」の利用をご検討ください。

利用申込および詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

銀行業務検定協会 検定試験運営センター
TEL：03-3267-4821 E-mail：unei-gos@khk.co.jp

事務局からのお知らせ

委託会場の視察について

「委託会場設置規程」に記されておりますように、試験の実施状況視察のため、試験実施日当日、検定試験運営センターより立会人を派遣することがあります(同規程5.(6))。

その際は事前にお知らせいたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※「委託会場」とは、試験申込団体からの申請をもとに、試験会場の手配・準備、試験資材の保管・管理、当日の試験実施・運営、試験実施後の答案等試験資材の返送等一連の試験業務を、検定試験運営センターが試験申込団体に委託する当該団体専用の試験会場をいいます。